

地域医療学実践分野について（平成 27 年度から新設）

※ 地域医療学実践分野を専攻できるのは、平成 27 年度入学生からとなりますのでご注意ください。

※ 地域医療学実践分野の主科目・責任講座等については、一覧表をご確認ください。

1. 設置趣旨

臨床医学に係る幅広い知識と技術を修得し、地域の医療ニーズに対応し、且つ専門性を持った地域医療を実践可能な人材を育成する。本趣旨に基づき、所定の条件を満たした場合には、大学院 4 年目に岩手県内の公的基幹病院等*において、地域医療の実践を通じた研究活動が可能である。

* 所定の手続きを得て承認された病院（各個人により異なる）

2. 当該専攻分野の主科目の履修条件について

- (1) 岩手県奨学金（市町村医師養成修学資金、医療局医師奨学資金、岩手県医師修学資金（本学地域枠特別推薦入試））受給者であること。
- (2) 岩手医科大学で初期研修を行うこと。
- (3) 将来の専門分野が決まっていない場合には、地域医療学実践分野内の主科目「総合臨床医学」コースを選択し、1 年目終了時まで専門分野を決め、主科目変更を行うこと。
- (4) 初期審査は、1 年次後期までに終了すること。
- (5) 初期研修 2 年目には、岩手医科大学で研修し、その専門分野を原則 11 か月（最大限）選択すること。
- (6) 初期研修 2 年目の 17 時以降に研究を行うこと。
- (7) 大学院 4 年目には論文作成などを行うこと。

3. スケジュール

1 年目	2 年目	3 年目	4 年目
岩手医科大学 (本学の初期研修では、協力病院における研修も可能です。)	岩手医科大学 (専門分野 11 ヶ月)	岩手医科大学 (研究専念)	地域医療の実践からの研究へのフィードバック*1

*1 4 年目の公的基幹病院等での診療及び研究について、研究の進捗状況等によっては応えることができない場合があります。研究指導教員の指示に従ってください。

※ 各コースの内容は、責任講座・分野に確認してください。

※ 1 年目に協力病院で研修を行う場合は、0 - 12 ヶ月の範囲内となります。また、本学臨床研修センターによる調整の結果、希望に沿えない場合があります。

※ 公的基幹病院等とは、岩手県の初期臨床研修病院となっている公的病院、公的基幹病院以外の公的病院、公的診療所となります。